

SNS教育プログラム レッスン1 学習指導案

1 単元名 適切なコミュニケーションを考える

2 本時のねらい

- (1) 同じ言葉でも、人によって感じ方が違う言葉があることに気付く。
- (2) 自分と他者との考え方や感じ方には違いがあることに気付く、その違いを踏まえたコミュニケーションが大切であることを理解する。

3 本時の展開

時間	学習活動	指導上の留意点
導入	○アイスブレイク（グループ活動による） 「夜遅い時間」といえば何時からですか？ ・自分にとっての遅い時間をカードに書く。 ・グループで一斉にカードを出して見て、気づいた事を話し合う。 ・自分と他者との時間の捉え方に違い(ズレ)があることを理解する。	・感じ方は人によって違い、正解があるわけではないことを伝え、本時の課題につなげる。
展開	<ワーク1> 発問1：友だちに言われていやな言葉、うれしい言葉はどれですか？ ○5つの言葉を言われて「いやな言葉」か、「うれしい言葉」に分類する。 その中で、一番いやな言葉、うれしい言葉を選び、その理由をワークシートに記入する。 ○グループで、①～⑤のカードを選んだ理由を出し合う。 ・意見交流することで、自分と他人には「感じ方の違い」があることに気付く。 ○ロールプレイ（ペア活動） 【例】 ①友達と今日ゲームをすることになりました。 その時「宿題あるからゲームはしない」と言う 「まじめだね」と言われました。 ②友達が学校を休んだので、授業のノートを見せることになりました。そのノートを見た友達が、 「まじめだね」と言われました。	・5枚のカードを配付する。 ①「まじめだね」 ②「おとなしいね」 ③「一生懸命だね」 ④「個性的だね」 ⑤「マイペースだね」 ・作業がすすまない児童生徒には、言われる相手を誰かひとりイメージするよう助言する。 ・自分が「いやではない」と思うことが、相手にとっては、「いやなこと」である場合があるなど、理由とともに違いを認識させる。 ・場面設定をして、実際に演じることで考えを深めさせる。 (指示例) ①冷たいように言ってみよう ②褒めるように言ってみよう ・1つの表現には、「誰から言われたか」「どのような場面や状況か」「声のトーン」などによって、2通り（ポジティブ・ネガティブ）の意味があることに気付かせる。

	○気づいた事をワークシートに記入する。 ○同じ言葉であっても、相手との感じ方の違いによって、いろいろな意味にとれることを理解する。	(例)「まじめだね」 → ○勉強熱心、●面白くない ・感じ方に違いがあることは、いい意味で言ったはずなのに、悪い意味でとらえられて、悪口になってしまうことがあることを理解させる。
	感じ方の「違い」を意識して、適切なコミュニケーションについて考えよう。	
	<ワーク2> 【事例】 ○事例について、トラブルの原因を考える。	・文字だけの表現で気持ちを伝えるために、アプリケーションのトーク画面で考えを深める。
	発問2：このやりとりで、問題だと思ったところがありますか。	
	○なぜ、誤解が生じたのか理由を考える。文字だけの場合を見たときの感じ方（受け取ったとき）の違いを考える。 ○文字だけのコミュニケーションと対面での会話の違いは何か、ワークシートに記入する。 ○文字だけのコミュニケーションでは、自分が伝えたいことが正確に伝わらなかったり、違う意味で受け取られる（誤解）ことがあることに気づく。	・実生活の「対面のコミュニケーション（相手の顔が見える）」を想像させ、「ネット上の文字だけのコミュニケーション（相手の顔が見えない）」との違いについて考えるように助言する。 ・短文により、1つの表現に2通りの意味があることに気付かせる。 ・会って話すと（相手の顔が見える）伝わるが、文字だけのやりとり（相手の顔が見えない）では意図が伝わりにくく、誤解が生じる可能性があることを理解させる。 ・対面でのコミュニケーションは、言葉、身振り手振り、声色、目つき、などを使って感情を伝える大切な要素があることを理解させる。 【参考】メラビアンの法則 👁️ 視覚情報（しぐさ・表情・服装） 55% 👂 聴覚情報（声の質・大きさ・速さ・口調） 38% 💬 言語情報（言葉の内容・意味） 7%

	発問4：自分の気持ちを正しく伝えるには、どのようなことに注意してコミュニケーションを取るようにしたらよいでしょうか。 ○相手に自分の気持ちを正確に伝えるためにはどのようなことに注意すればよいか、トラブルの回避策についてグループで考える。 (例) ☐相手の気持ちを考える ☐自分がいわれたらどう思うか考える ☐わかりやすい表現にする ☐実際に会って説明する ☐発信する前に読み返しチェックする ☐誤解されにくい言葉を選んで伝える ○相手の気持ち(受け取った人がどのような気持ちになるか)をよく考え、相手の立場に立って(相手を思いやって)表現することが大切であることを理解する。	・自分ならどうするかを考えるように促す。 - また、受け取る相手の気持ち(傷付けない、誤解を与えないコミュニケーション)を考えて話し合うように助言する。 ・丁寧で分かりやすい表現を心がけることを確認する。 ・相手を思いやることが重要であることを確認する。
まとめ	○本時の学習を振り返る ・コミュニケーションをとるときに大切にすること(心がけること)をワークシートにまとめる。 ○学級全体で共有する。	・相手を思いやる気持ちを持つことが大切であることを理解させ、今後の自分の目標として考えさせる。 ・本時の学習を実生活に生かすように助言する。

4 評価

十分満足できると判断される状況

自分の考えや気持ちを伝えるための適切なコミュニケーションについて、相手の気持ち、相手の立場に立って考えることができる。

努力を要する状況への手立て

他人の意見を聞くことにより、それぞれの立場によって、考え方や感じ方が異なることを理解させる。

5 教材

カード教材 出典：一般財団法人 LINE みらい財団 情報モラル教育教材「SNSノート」
<https://linecorp.com/ja/csr/newslist/ja/2018/190>

6 実践するにあたって

(1) 概要

- ・全4回のプログラムの1回目であり、自分と他者との考え方や感じ方には違いがあることに気付かせ、コミュニケーションの難しさや望ましいあり方について考えさせることを主眼としている。

- ・題材だけでなく、ロールプレイやグループでの活動そのものが、望ましいコミュニケーションの在り方を模索させるという本時のねらいと直結している。

(2) 指導の方向

- ・学校生活の中でも、気軽な気持ちで人が傷つくような発言をしたり、気持ちを表現したりできずに児童生徒同士がトラブルになることがある。同じような内容の文面でも相手への伝わり方、受け取り方が異なることに気付かせることで、友達との関わりについて振り返る機会とし、日常生活においても伝え方に気を付けようとする態度を養いたい。

(3) 工夫すると良い点

- ・相手が発する言葉だけでなく表情や態度から、相手の気持ちを察しながらコミュニケーションを図っている。これがインターネット上での文字のみのコミュニケーションになった場合、対面の時と比べて、相手の状況を判断する情報が乏しく、相手の意図や状況を理解しづらかったり、誤解をしてしまったりしてトラブルが生じることが考えられることを理解させるとよい。

【参考】メラビアンの法則・・・感情や態度について矛盾したメッセージが発せられたとき、人の受けとめ方に及ぼす影響の大きさについての実験結果。話の内容などの言語情報が7%、口調や話の早さなどの聴覚情報が38%、見た目などの視覚情報が55%の割合であった。

- ・カード教材は生徒を引き付けるのに有効である。しかし、児童生徒人数分のカードを印刷するには周到な準備が必要である。

年 組 名前

【ワーク1】

◆ あなたが、友だちに言われていやだと感じる言葉、うれしいと感じる言葉を1つ選んでみましょう

いやな言葉	うれしい言葉
選んだ理由を書いてみましょう。	選んだ理由を書いてみましょう。

みんなで、
話し合ってみましょう！



他の人の考えを聞いて、気付いたことを書きましょう。

【ワーク2】

◆ 感じ方の「違い」を意識して、適切なコミュニケーションについて考えよう

グループ (3)

日曜、部活なし！

駅前に遊びに行こうよ

行けるの？

俺も行く！

時間は

ね、何で行くの

わかった

このやりとりで問題だと思ったところはどこにありますか。

ネット上の文字だけのコミュニケーションと、対面でのコミュニケーションをくらべてどんな違いがあるでしょうか。

自分の気持ちを正しく伝えるためには、どのようなことに注意したらいいと考えますか。

◆ これから、コミュニケーションをとるときに大切にすることを3つ書きましょう

-
-
-

レッスン1 適切なコミュニケーションを考える

いやな言葉

うれしい言葉